

富岡甘楽地区の乳歯のむし歯予防対策

社団法人 富岡甘楽歯科医師会

○萩原吉則 黒澤良介 入山久美子* 上原友美* 松本裕美*

*歯科医師会常勤歯科衛生士

1. はじめに

富岡甘楽地区は、県の南西部に位置し、富岡市、甘楽町、下仁田町、南牧村の4市町村で構成され、圏域の人口はおよそ8万1千人である。富岡甘楽歯科医師会（会員38名）は、平成4年5月に完成した富岡甘楽口腔保健センターに事務局を置き、地域の歯科保健の充実をめざしている。現在、歯科医師会には常勤歯科衛生士3名（1名は主に事務を担当）が勤務し、管内の歯科保健事業に従事する歯科衛生士のリーダーとして、地域歯科保健活動の原動力になっている。

当歯科医師会では、平成5年に公衆衛生活動の目標を具体化した「各ライフステージにおける歯科保健対策」を立案し、生涯を通じた歯科保健の確立をめざしてきた。その対策の内容は、乳歯のむし歯予防対策、永久歯のむし歯予防対策、児童生徒の歯肉炎予防対策から始まり、成人・高齢者の歯科保健対策、歯科訪問診療、訪問口腔衛生指導、心身障害者（児）の歯科診療までを含む総合的なものである。

今回は、その一環として実施されている乳歯のむし歯予防対策の成果について報告する。

2. 富岡甘楽地区で実施されている乳歯のむし歯予防対策

管内全市町村で、乳歯のむし歯予防対策として、健診と歯科保健指導の充実に加えて、フッ素塗布（フッ化物歯面塗布）と「家庭でのフッ化物利用」を組み合わせた対策が実施されている。平成5年度までには、全市町村でフッ化物を利用した乳歯の予防対策を開始した（表1）。事業の実施方法は、各市町村の状況に応じて毎年見直し充実を図ってきた。

表1 乳幼児の歯科保健対策〔富岡甘楽地区〕2008年

	歯科保健事業名	年間開催数	対象者	歯科医師数	歯科衛生士数	フッ素塗布	フッ素塗布の実施方法・その他の特記事項	歯科単独事業
富岡市	10か月児健康診査	12回	10か月		3名		歯科衛生士による講話、個別指導	
	1歳6か月児健康診査	12回	1歳6か月	1名	5名	○	1歳6か月健診で希望者にフッ素塗布	
	にこにこ教室(2歳)	12回	2歳	1名	4名	○	2歳児の希望者にフッ素塗布	○
	にこにこ教室(2歳6か月)	12回	2歳6か月	1名	4名	○	2歳6か月児の希望者にフッ素塗布	○
	3歳児健康診査	12回	3歳	1名	5名	○	3歳児健診で希望者にフッ素塗布	
	にこにこ教室(3歳6か月)	12回	3歳6か月	1名	4名	○	3歳6か月児の希望者にフッ素塗布	○
	はっぴいルーム	36回	ハイリスク児	(1名)	2名	○	希望者にフッ素塗布を実施。サホライドの塗布。にこにこ教室に併設	○
甘楽町	乳児健診	12回			1名			
	1歳6か月児健診	6回	1歳6か月	1名	2名			
	3歳児健診	6回	3歳	1名	2名			
	むし歯予防教室	12回	1歳から3歳6か月	1名	5名	○	1歳から3歳6か月まで、6か月ごとに合計6回、フッ素塗布を希望者に実施。初回到講話。ハイリスク児は、リコール間隔を1か月～4か月に短縮。	○
下仁田町	乳児健診	6回			1名			
	幼児健診	6回	1歳から3歳8か月	1名	4名	○	1歳から3歳8か月まで、6か月ごとに合計6回、フッ素塗布を希望者に実施。初回到歯科衛生士による講話。	
	定期健康相談	12回	健診後 フォロー等		2名	○	ハイリスク児を対象にフッ素塗布を実施。サホライドの塗布。	
南牧村	乳幼児健診・むし歯予防教室	4回	1歳から4歳まで	1名	3名	○	1歳から4歳まで、3か月ごとに合計13回、フッ素塗布を希望者に実施。	

上記の事業で、歯科医師・歯科衛生士・保健師などが、ブラッシング指導・間食食事指導・フッ化物利用（家庭でのフッ化物利用を含む）の指導などを総合的に行っている。歯科医師が従事する事業では健診を実施している。

フッ素塗布は、いずれもフルオール・ゼリー（平成16年度までは、フロアーゲルを使用）を綿球法で塗布。フッ素塗布の開始年度は、下仁田町・昭和63年、甘楽町・平成2年、妙義町（平成18年に富岡市と合併）・平成4年、富岡市と南牧村・平成5年。家庭でのフッ化物利用としては、フッ素イオンスプレー（レノビーゴ）、フッ素洗口剤（ミラノールなど）、フッ化物配合歯磨剤などの使用を状況に応じて指導している。

3. 幼稚園、保育園、幼児園のフッ素洗口と歯科衛生士による巡回歯科保健指導

永久歯のむし歯予防対策としては、フッ素洗口（フッ化物洗口）の普及をめざしている。フッ素洗口は、昭和61年度に甘楽町立の4幼稚園で開始されたが、平成4年度から管内4市町村の保育園、幼稚園に急速に普及した。平成20年7月末現在、富岡甘楽地

区の保育園・幼稚園・幼児園 31園中の30園で、4、5歳児 1172 名がフッ素洗口を実施している。希望者が対象だが、実施率は毎年95%を越えている。また、管内のすべての保育園、幼稚園、幼児園で、園児と保護者を対象に「歯科衛生士による巡回歯科保健指導」が実施されている。

4. 結果

管内全市町村で、3歳児のむし歯罹患状況が、dmf者率(表2)、dmf歯数(表3)ともに、大幅に改善した。

表2 富岡保健福祉事務所管内 3歳児健診の結果 むし歯保有者率/dmf者率〔%〕

年度	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
富岡市	75.5	75.9	77.9	72.5	76.9	74.2	68.5	55.9	43.9	42.9	38.5	29.0	35.2	30.4	32.2	28.4	25.6	17.1	22.9	17.5
甘楽町	74.0	78.6	80.9	76.8	82.5	68.2	69.3	59.3	47.7	41.7	42.4	38.3	35.2	27.7	26.0	28.3	30.4	19.0	20.0	11.8
下仁田町	83.0	85.4	78.9	69.5	65.2	76.3	64.0	61.3	62.5	48.1	39.2	21.0	26.8	41.4	26.3	20.6	31.4	30.0	26.3	26.1
妙義町	71.6	69.6	80.6	90.2	77.2	58.1	65.9	48.7	51.4	32.4	41.2	35.1	27.0	25.0	12.5	33.3	56.5	17.4	富岡と合併	
南牧村	76.9	86.8	79.4	82.4	79.3	86.2	75.0	71.4	64.3	38.1	44.4	47.1	28.6	50.0	36.4	36.4	50.0	19.0	25.0	10.0
管内合計	76.0	78.3	78.8	74.3	76.4	73.0	67.9	57.0	48.0	42.7	39.6	30.5	33.8	30.9	29.7	28.0	28.3	18.6	22.7	17.2
群馬県	62.4	63.7	63.8	62.8	60.6	58.8	57.0	55.1	50.3	48.7	46.1	44.6	40.7	38.5	37.7	35.8	33.4	33.2	28.7	26.6

表3 富岡保健福祉事務所管内 3歳児健診の結果 一人平均のむし歯数/dmf歯数〔本〕

年度	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
富岡市	4.78	5.13	4.51	4.72	4.93	4.64	3.99	2.87	2.31	2.29	1.65	1.29	1.46	1.16	1.20	0.97	0.98	0.53	0.72	0.63
甘楽町	5.60	5.51	5.89	5.61	4.89	4.26	4.35	3.57	2.38	1.96	1.65	1.57	1.37	1.00	1.04	1.14	1.32	0.59	0.78	0.51
下仁田町	6.55	6.29	5.06	4.52	4.10	4.79	3.85	3.85	2.08	3.00	1.62	0.79	1.35	1.66	1.25	0.84	1.51	1.76	1.02	0.54
妙義町	4.34	4.34	5.05	5.45	6.16	3.05	3.23	2.51	3.05	1.82	1.56	1.65	0.84	0.81	0.47	1.13	2.00	0.96	富岡と合併	
南牧村	3.85	6.37	5.91	7.12	7.66	7.52	7.92	3.67	2.64	1.38	2.33	2.06	0.86	1.10	0.64	2.18	0.83	0.57	0.75	0.30
管内合計	5.11	5.43	4.91	5.00	4.99	4.61	4.04	3.08	2.33	2.26	1.65	1.32	1.39	1.15	1.13	1.02	1.12	0.65	0.76	0.60
群馬県	3.50	3.63	3.59	3.57	3.31	3.00	3.02	2.85	2.66	2.41	2.22	2.10	2.00	1.79	1.80	1.58	1.44	1.39	1.17	1.07

5. 考察

富岡甘楽地区では、健診と口腔衛生指導を中心にしたむし歯予防対策が実施されてきたが、あまり成果が見られず、3歳児のむし歯罹患状況が県内12保健所中最下位という状況が続いていた。そこで、平成5年度までに、全市町村の歯科保健事業にフッ素塗布を導入し、指導の内容を見直し、科学的根拠に基づく情報の提供に努め、「家庭でのフッ化物利用」の普及啓発を図った。その結果、全市町村で3歳児のむし歯罹患状況が大幅に改善した。むし歯罹患状況の改善は、充実した口腔衛生指導による保護者の意識の変化、フッ素塗布による「歯質強化」、家庭でのフッ化物利用の普及による「エナメル質の再石灰化の促進」「歯垢中の酸産生能の抑制」などの相乗効果の結果だと考えている。

フッ素塗布を実施している歯科保健事業にあまり参加していない児が、転入者を含めて3歳児健診受診者の2割程度を占める。歯科保健事業に参加していない児の中にも、「かかりつけ歯科医」を持ち定期的に予防処置を受けている者もいるが、参加回数の少ない児にむし歯が多い傾向がある。今後は、市町村の歯科保健事業へ参加しない児や参加回数が少ない児への対策が大きな課題である。

また、幼稚園・保育園・幼児園30施設で4、5歳児を対象に、フッ素洗口が実施され成果を上げている。園でのフッ素洗口実施は、乳歯のむし歯予防対策としても効果が大きい。また、歯科衛生士による巡回歯科保健指導は、歯科保健についての正しい情報の普及啓発に大きな役割を果たしている。

6. おわりに

むし歯予防対策としては、フッ化物の利用、特に公衆衛生的な方法の普及が重要である。今後、富岡甘楽地区においては、遅れが目立つ学齢期のむし歯予防対策を充実する必要がある。さらに、最も優れた公衆衛生的なむし歯予防対策であり、各種フッ化物利用の原点でもある「フロリデーション」(水道水フッ化物濃度調整)の実施を視野に入れた活動を継続していくことが重要だと考える。

下仁田町では、平成15年度から18年度まで4年連続で、財団法人8020推進財団から歯科保健活動助成の交付を受け、関係諸団体が連携しフロリデーションの実施をめざした啓発活動を継続してきた。その結果、平成16年度には日本口腔衛生学会監修のリーフレット「フロリデーション」、平成17年度には厚生労働省科学研究班の技術支援を受けた「フロリデーションモデル装置」が完成した。平成19年度からは、富岡甘楽歯科医師会が主体になり、2年連続で歯科保健活動助成金の交付を受け、下仁田町での活動を継続しながら、管内他市町村の住民を対象にした啓発活動にも、これまで以上に積極的に取り組んでいる。フロリデーションが実施されれば、子供から高齢者まで給水地域で生活する住民すべてが、むし歯予防の恩恵を享受できるようになる。